



「やさいの家」

～フードロスについて
考えるきっかけづくりを～

2022年12月1日～3日

@小倉

家族みんなで、楽しみながらSDGsについて考える機会として、12月1日～3日小倉・勝山公園に「やさいの家」を作り、JA福岡京築様に協賛いただいた野菜を市民の方々にプレゼントしました。当日は快晴で、12時からの開始前から行列ができるほど非常に多くの方々にご来場いただきました！



ご家族で新鮮な野菜をいっぱい食べてね！

●『多くの食べ物がまだ食べられるのに捨てられる「食品ロス問題」』

世界では9人に1人が栄養不足と言われているにも関わらず、日本では1年間でなんと約612万トン（＝東京ドーム約5杯分）もの食品が捨てられています。形が悪い（＝規格外の）野菜は、鮮度や味に問題がなくても、流通することなく捨てられてしまいます。地元で作った野菜を無駄にしないよう、一人でも多くの市民の方々に問題意識を持ってもらうきっかけになれば。』と北九州市出身の藤田さんは言います。



地元のためですから、頑張りますよ！（藤田さん）

●「やさいの家」はなんと手作り！

「家」のデザインはもちろん、告知のためのチラシやホームページも全て学生が作りました。イベント当日司会を行った広報メディア担当の藤本さん・加藤さんは、新聞社やテレビ局の取材対応にも奮闘しました。みんなで力を合わせ、地元を元気づけようという取り組みの幕開け、まずは大成功でした！



直前まで、みんなが力を合わせて作りました！



当日も朝7時に集合して準備。なんとか間に合いました！

取材・文：望

竹内ゼミでは例年12月、大分駅前でお菓子の家を開催していますが、今年はそれに加え、小倉と下関で「やさいの家」を開催しました。

学生広報スタッフの私、望が、その準備段階からイベント当日の様子まで取材しましたので、2回に分けてレポートします。

